

ODIP 4.2 修正パッチ (P1040206005625) リリースノート

2023/6/23

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容 .....	4
B. バージョンアップによる影響 .....	4
C. パッチの適用方法.....	4
1. ライブラリファイルの更新.....	4
2. パッチ適用後の確認.....	5

## A. 変更内容

- (1) グループ集計が定義された管理単位で、「導出演算(開始)」または「導出演算(終了)」で[出力]が指定されているとき、型変換によるエラー (ClassCastException) が発生してジョブが異常終了する場合がある問題を修正しました。
- (2) グループ集計が定義された管理単位で、明細ユーザビューの元属性/設定値にリテラル、カテゴリ、外部変数属性を指定した場合、またはクロス集計ユーザビューの見出し項目に外部変数属性を指定した場合に、グループ集計の集計結果行のリテラル、カテゴリ、外部変数属性の値が正しく出力されない問題を修正しました。
- (3) 複数の Union が定義されているとき、ユーザビューで指定した外部変数属性の値が、Union1 以外の Union で正しく出力されない問題を修正しました。
- (4) グループ集計が定義された管理単位で、明細ユーザビューに出力前導出演算が定義されていると、ジョブが異常終了する場合がある問題を修正しました。

## B. バージョンアップによる影響

既存の定義への影響はありません。

## C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP アドミニストレータ v4.2
- ODIP オペレーションマネージャ v4.2
- ODIP リポジトリマネージャ v4.2
- ODIP プロセスマネージャ v4.2
- ODIP リポジトリサーバ v4.2
- ODIP トランスフォーマ v4.2

### 1. ライブラリファイルの更新

実行中の ODIP 製品を終了し、ODIP\_P1040206005625 フォルダに格納されているライブラリファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP\_P1040206005625 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1040206005625	ファイルのコピー先
lib	
ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
OPE	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ
TFM	ODIP トランスフォーマの lib フォルダ

## 2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表 2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから“ODIP について”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040206005625 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから“ORMS サーバ情報”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040206005625 であることを確認してください。
ODIP トランスフォーマ	ODIP トランスフォーマを起動し、showserver コマンドを、オプションに“-info version”を指定して実行してください。表示されたすべてのビルド ID が 1040206005625 であることを確認してください。

以 上